

平成 28 年 3 月定例会 請願

平成28年請願第 1 号

歯科治療における保険適用の範囲拡大を求める請願

・受理年月日

平成 28 年 2 月 25 日

・請願の要旨

今日の歯科医療は糖尿病の管理をはじめ、心臓疾患、誤嚥性肺炎、認知症の予防など、全身の健康にとって必要不可欠な口腔機能を維持させる上で、ますます重要となっている。

また、高齢者で歯の残存数が多い方ほど医療費が少ないとの調査結果も報告されている。

しかし、日本医療政策機構の調査によれば、年間所得が300万円未満の世帯では、「費用がかかる」という理由で過去 1 年間一度も歯科受診していない方が 4 割に上っており、経済格差が「歯の健康格差」を生み出しているといえる。

当協会が行った県内の小中学校を対象とした歯科治療調査（2013年）では、学校健診で「要歯科受診」と診断されたのに受診をしていない子どもが小学生で46.7%、中学生では69.0%に上り、その理由の中に「治療費負担など経済的理由」が17.9%あった。

歯科医療は保険のきく治療の範囲が限られているため「歯の治療はいくらお金がかかるかわからない」という不安があり、そのことが受診の手控えにもなっている。

安全で普及している歯科治療については、品質や安全性が確保され、定着している治療技術や材料でも、長期にわたり保険にほとんど導入されていないことから、順次保険導入されるべきである。

については、口腔の機能維持・向上と、それに基づき全身の健康状態の向上を図るべく、安心して保険による歯科医療受診ができるよう、下記の項目について、関係機関に意見書を提出していただくよう請願する。

請願項目

- 1 歯科治療における保険適用の範囲を拡大すること

・請願者の住所氏名

盛岡市盛岡駅前通15-19 盛岡フコク生命ビル 8 階
岩手県保険医協会 会長 南部 淑人

・紹介議員

古川愛明
木村琳藏

・処理経過

平成 28 年 3 月定例会本議において、民生常任委員会へ付託しました。

上記項目を記載した請願文書表を全議員及び本会議に出席した当局職員へ配付しました。

・審査結果・採決

平成 28 年 6 月 24 日の 6 月定例会本会議において、遠藤幸徳民生常任委員長から委員会での審査の結果「採択すべき」とする報告があり、採決の結果、全会一致で「採択」しました。

請願と同趣旨の意見書を委員会提出議案として提出し、可決の上、国の関係機関に対して意見書を提出しました。

平成 28 年 3 月定例会 陳情

平成28年陳情第 1 号

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

・受理年月日

平成28年 1 月 7 日

・陳情の要旨

脳しんとうは、軽度の外傷性脳損傷であり、頭頸部に衝撃を受けた後、あるいは頭と脳を前後に素早く振るような、むち打ち型損傷後に発生することがあり、治療を必要とする重篤な症状を引き起こす可能性がある。誰もが転倒、自動車事故、またはその他の日常の活動中に受傷する可能性がある。

2007年、世界保健機関（WHO）の報告によれば、外傷性脳損傷は世界で年間1000万人の患者が発生していると推測されており、2020年には世界第3位の疾患になると予測され、その対策が急務であると警告されている。

平成24年7月に文部科学省が「学校における体育活動中の事故防止について」報告書をまとめ、平成25年12月には、社団法人日本脳神経外科学会から「スポーツによる脳損傷を予防するための提言」が提出され、同月には、文部科学省より「スポーツによる脳損傷を予防するための提言に関する情報提供について」の事務連絡が出されているが、実際の教育現場や家庭では、正確な認識と理解が進まず、対応も後手に回ってしまうため、最悪、鬱状態に陥ってしまう人も多い。

また、重篤な事案となった場合にも事故の初動調査がおくれがちになることにより、事案の経緯が明確にならないため、介護・医療、補償問題をも後手に回ってしまう。

そこで、下記のとおり、国・政府等関係機関に意見書を提出するよう陳情する。

記

- 1 教育機関での周知徹底と対策を行うこと。
- 2 専門医による診断と適切な検査の実施を進めること。
- 3 周知・啓発・予防措置の推進と相談窓口の設置をすること。
- 4 保育園、幼稚園及び学校内で発生した場合の正確かつ迅速な調査・開示を行うこと。

・陳情者

大阪府東大阪市六万寺町 3 - 12 - 33

軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本 久美子

・処理結果

上記項目を記載した陳情文書表を、全議員及び本会議に出席した当局職員へ配付しました。

平成28年 2 月 29 日、定例会本会議において報告しました。